

「平成19年度省エネルギー月間表彰」で
小松精練の省エネ及びCO₂削減システムが認められ
『経済産業局長賞』を受賞

小松精練株式会社（本社：石川県能美市 社長：中山 賢一）は、白山市にある美川工場で昨年4月に稼動したLNG(液化天然ガス)プラントにおいて、独自設計した省エネルギー及びCO₂削減システムによる効果が認められ、このたび省エネルギーセンター主催の平成19年度省エネルギー月間表彰において「経済産業局長賞」を受賞いたしました。

地球環境の保護、保全に対する企業姿勢がますます問われる中、小松精練は1999年4月に環境循環型企業を目指す指針として、「小松精練環境管理宣言」を掲げ、会社・社員一体となって環境への取組み強化に努めてまいりました。

06年5月には環境省の"平成18年度温室効果ガスの自主削減目標設定に係る設備補助事業"の助成を得て、"小松精練美川LNGサテライト"のプラント建設を開始し、小松精練美川工場並びに隣接している関連会社の株式会社ケイズテックで使用しているボイラー用燃料の重油および乾燥設備用燃料のLPGなどの石油系燃料からLNGへの完全転換を図りました。

このプラントを設計するにあたり、①LNGを気化する際、必要とされる熱源に工場から排出される"温排水"を安定的に供給できるシステムを開発し、②これによって大幅な省エネ効果が得られ、さらに③CO₂として年間で約8千トンの削減効果が得られました。今回設計した新たなシステムとその活動内容が省エネルギーセンターで認められ、今回の受賞に至ったものです。

なお、小松精練は平成17年度にも「経済産業局長賞」を受賞しており、2度目の受賞は染色業界としては初の快挙となります。

当社は今後も、地球環境の保護並びにエネルギーと天然資源の保全に向けた取組み強化に努めてまいります。

BACK